

大腸がん検診を受けましょう

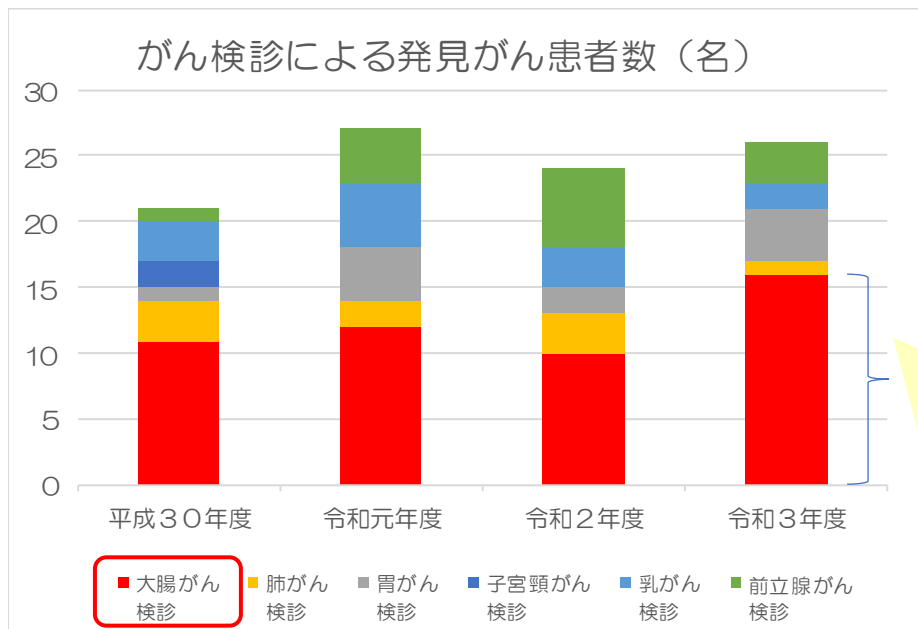


大腸がんとは

- ・大腸がんは大腸に発生するがんで、臓器別では男性、女性ともに2番目に多いがん。
- ・日本人が最も多く罹患するのは、大腸がんと言われています。
- ・40歳頃から増え始め、50歳代に多く、女性より男性に多いがん。

Q 大腸がんの自覚症状はありますか？

排便の変化（血液が混じった便や肛門からの出血、便が細くなる、下痢と便秘を繰り返す、残便感がある、等）腹痛、お腹の張りや貧血、体重減少などありますが、**早期ではほとんど自覚症状はありません！**



津山市では毎年20～30名の方に、がんが見つかり、**大腸がんは一番多く発見されています。**

令和3年度の大腸がん検診では、**5794名**の方が受診し、**16名**の方にがんが見つかりました。

大腸がんが見つかった方のなかには、進行したがんの方も見つかりました。大腸がんを早期に見つけることが出来れば、5年生存率（診断から5年後に生存している割合）は80%以上です。

だから、早期発見・早期治療が重要です！！

大腸がん検診を受けましょう！

津山市では **40歳以上の市民の方全員が対象**です。 **1年に1回必ず**受けましょう。

- ・検査方法「便潜血検査」について



通常2日間分の便を採取し、血液の成分が混じっていないかを調べます。簡便で体への負担が少ない検査法です。便潜血検査では目に見えないわずかな出血も検知することが可能です。

Q 昨年、便潜血検査が陽性で精密検査を受けたら、痔でした。今年も陽性になったが、精密検査は受けなくていいですか？

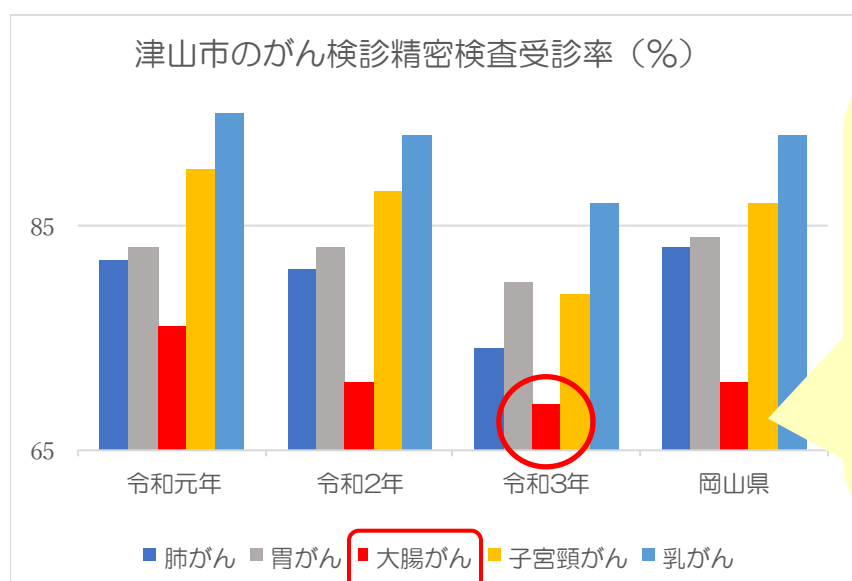
便潜血検査では、その出血が痔によるものか、大腸の病気によるものかを区別することができません。逆に、痔の自覚症状があっても、便潜血検査が陽性とならない人もいます。そのため、痔以外の大腸の病気による出血かもしれないと疑って、精密検査を必ず受けるようにしましょう。

『痔があるから、その出血だろう』と思ってそのままにするのはやめましょう！

★便潜血検査が陽性となったら内視鏡検査による精密検査が必要です。



津山市のがん検診精密検査受診率（％）



津山市のがん検診の精密検査の受診率は**大腸がんが最も低く**、令和3年度では岡山県と比べても低くなっています。大腸がん検診で陽性とでたら、速やかに精密検査を受診しましょう。



医療機関では6月～翌年1月、集団健（検）診では7月～翌年2月頃に津山市の健（検）診を実施しています。

1年に1回は、からだの点検日を計画し、受診しましょう！

＜津山市 健康増進課 がん検診・集団健（検）診に関するお問い合わせ＞

0868-32-7009（健診専用ダイヤル）平日 8:30～17:15

URL： <https://www.city.tsuyama.lg.jp/life/index2.php?id=2413>

